

助産学実習Ⅰ評価表

| | 評価項目 | 10 | 9 |
|---|--|--|--|
| 1 | 妊娠末期の助産診断に基づき、妊婦と胎児の健康に必要な援助が実施できる | 2回の指導を受け助産診断と援助（保健指導含む）ができた | 3回以上の指導を受け、助産診断と援助（保健指導含む）ができた |
| 2 | 分娩期の助産診断に必要な根拠に基づいた判断や予測について学ぶことができる | 分娩経過に合わせて情報収集し、判断や予測を助産師に伝えることができた | 分娩経過より遅れることもあったが情報から判断や予測を助産師に伝えることができた |
| 3 | 分娩期の産婦と胎児の健康に必要な助産ケアが実施できる | ほとんど助産師とともに実施できた | 助産師とともに一部実施、一部見学した（見学より実施が多い） |
| 4 | 早期産褥期の助産診断に基づき、褥婦の健康に必要な援助が実施できる | 2回の指導を受け助産診断と援助（保健指導含む）ができた | 3回以上の指導を受け、助産診断と援助（保健指導含む）ができた |
| 5 | 早期新生児期の経過診断に基づき、新生児の健康に必要な援助が実施できる | 2回の指導を受け助産診断と援助（保健指導含む）ができた | 3回以上の指導を受け、助産診断と援助（保健指導含む）ができた |
| 6 | 退院から一か月健診までの母子と家族の状況をアセスメントし、必要な助産過程を立案・実施することができる | 2回の指導を受け必要な助産過程を立案・実施することができた | 3回以上の指導を受け必要な助産過程を立案・実施することができた |
| 7 | 母子と家族の身体・心理・社会的特徴をサマリーにまとめ、妊娠末期から産褥1か月健診まで継続して援助することの意義について理解できる | 適切なサマリーを自発的にまとめることができ、継続して援助することの意義について考察を深めて記録できた | 1回の指導で適切なサマリーをまとめることができ、継続して援助することの意義について考察を深めて記録できた |
| 8 | 思春期保健指導の企画・指導案の作成では、明確な目的をもち効果的な集団指導の実施に向けて、考察を深めながら作成できる | 教員の指導5回以内で、目的を明確にでき、効果的な集団指導の実施に向けて考察を深めながら作成できた | 教員の指導6回以上受けたが、目的を明確にでき、効果的な集団指導の実施に向けて考察を深めながら作成できた |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 9 | 思春期保健指導の運営では、教員やメンバー（協力者含む）に報告・連絡・相談しながら、自分の役割を果たすことができる | 自発的、積極的に教員やメンバーに報告・連絡・相談しながら、自分の役割を果たすことができた | 教員の指導を受けたこともあるが、教員やメンバーに報告・連絡・相談し、自分の役割を果たすことができた |
| 10 | 実習Ⅰ全体を通して、母子保健における助産師の責務と役割について考察を深めることができる | 母子保健における助産師の責務と役割を多角的な視点から考察でき深められた | 母子保健における助産師の責務と役割を多角的とは言えないが考察でき深められた |
| | | | 合計 |

* 評価項目番号1・4・5・6に記載の2回の指導とは、

評価者
(教員)

学籍番号

氏名

| 8 | 7 | 6 |
|---|---|---------------------------------------|
| 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は見学した | 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は見学した | 見学後に助産診断と必要な援助について考察し、記録にまとめた |
| 情報からの判断や予測をすべてではないが助産師に伝えることができた | 分娩経過に合わせられず全てが後追いになったが、振り返りを行い学ぶことができた | 分娩に立ち会えなかったが、情報収集にて学んだ |
| 助産師とともに一部実施、一部見学した（実施より見学が多い） | 助産師の実施内容をすべて見学した | 分娩に立ち会えなかったが、情報収集にて助産課程を立案した |
| 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は一部実施、一部見学した | 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は見学した | 見学後に助産診断と必要な援助について考察し、記録にまとめた |
| 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は一部実施、一部見学した | 3回以上の指導を受け、助産診断はできたが、援助は見学した | 見学後に助産診断と必要な援助について考察し、記録にまとめた |
| 3回以上の指導を受け、必要な助産過程を立案できたが、援助は一部実施、一部見学した | 3回以上の指導を受け、必要な助産過程を立案できたが、援助は見学した | 見学後に必要な助産過程について考察し、記録にまとめた |
| 2回以上の指導でサマリーをまとめることができ、継続して援助することの意義について考察を深めて記録できた | 2回以上の指導でサマリーをまとめることができ、継続して援助することの意義について記録できた | サマリーは十分とは言えないが、継続して援助することの意義について記録できた |
| 教員の指導6回以上、目的は明確にできたが効果的な集団指導の実施への考察を深めることには課題が残った | 指導日の週まで修正が必要となったが、目的を達成するための企画・指導案が作成できた | 指導日の週まで修正が必要となり、企画・指導案は作成できたが、課題が残った |

| | | |
|--|---|---|
| <p>教員の指導を複数回受けながら教員やメンバーと報告・連絡・相談し、自分の役割を果たすことができた</p> | <p>教員やメンバーに報告・連絡・相談ができていないこともあったが、自分の役割を果たすことができた</p> | <p>教員やメンバーへの報告・連絡・相談や自分の役割ができていない場面もあったが、指導を受けながら運営した</p> |
| <p>母子保健における助産師の責務と役割を多角的とは言えないが考察できた</p> | <p>母子保健における助産師の責務と役割について浅い視点ではあるが考察できた</p> | <p>母子保健における助産師の責務と役割のどちらか一つに偏りのある考察ができた</p> |
| | | |

、教員（実習指導員含む）の指導と臨床助産師の指導を意味する